



—実践活動報告—

# 宮崎大学教育学部附属中学校 PTA活動紹介

「大学で学ぼう」

# 1.活動概要・目的



宮崎大学教育学部附属中学校PTA

## ◎学校紹介

宮崎市花殿町に位置する県内唯一の国立中学校  
全学年14クラス、生徒数約440名

真理を探究し、勤労を愛する  
気品のある生徒の育成

## ◎PTA活動の特徴

大学・学校との協働を大切にしながら展開  
学年別の実践活動は、附属中ならではの特色をもち、  
保護者と教職員、大学、地域との連携のもとで企画・実施

生徒だけでなく保護者も参加

## ◎各学年の実践活動

1  
年  
生

「みやざき健康キャラバン隊がやってくる！」

宮崎大学医学部・工学部と連携した健康教育講義  
医療や科学技術の最前線に触れ、自身の健康や未来の生き方  
について真剣に考える機会を提供

2  
年  
生

「宮崎で働く保護者」

地域で働く保護者が講師を務める職業講話  
仕事への想いや苦労、やりがいを語る姿に、生徒たちは社会  
とのつながりを実感。保護者にとっても、子どもたちに語ること  
で自らの仕事や人生を見つめ直す機会となった

E  
級

特別支援学級では、宮崎大学農場での野菜の栽培・収穫・販  
売を体験。親子で汗を流しながら取り組む活動は、子どもたち  
にとっては働く喜びや責任感、そして家族との絆を深める大切な  
経験となった

## 第3学年実践活動 「大学で学ぼう」

### ◎目的

大学の先生方による授業を体験し、知識や考え方を深め、  
宮崎の良さを再認識するとともに、今後の進路選択や将来の生き方の視野を広げる

◎生徒と保護者が参加し、科学的思考を身に付け夢のある人生を描くための  
講義を一緒に受講

◎生徒向け、保護者向けの選択講座を設け、専門性の高い大学講義を体験



### 場所

宮崎大学教育学部  
講義棟



### 講師

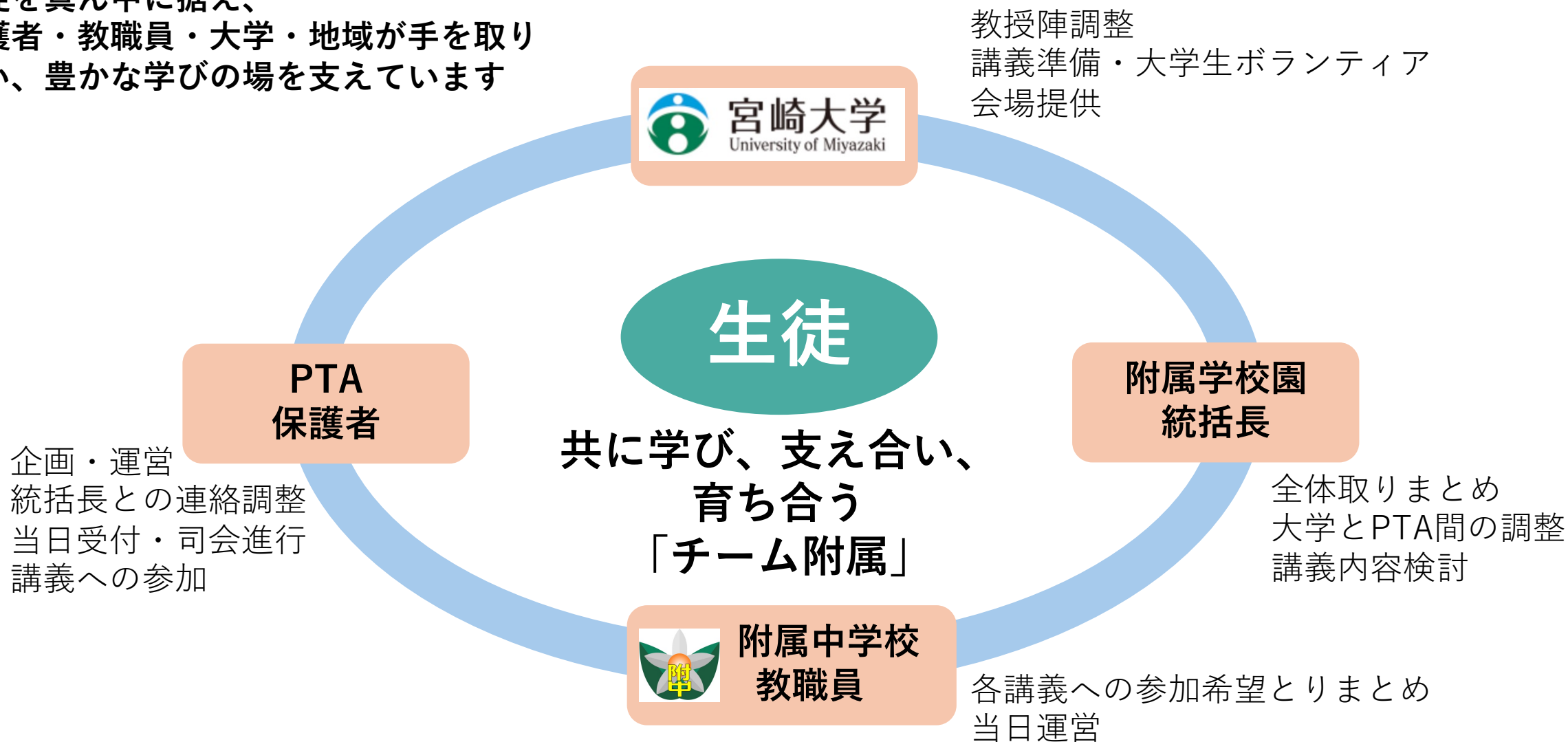
宮崎大学の教授陣

## 2.PTA・大学・本校の連携



宮崎大学教育学部附属中学校PTA

生徒を真ん中に据え、  
保護者・教職員・大学・地域が手を取り  
合い、豊かな学びの場を支えています



# 3.講義紹介



宮崎大学教育学部附属中学校PTA

| 分野       | 講師     | テーマ                               |
|----------|--------|-----------------------------------|
| 生徒及び保護者  | 國武 久登  | 科学的に探り・究め・夢を与える人生を目指して            |
| 教育学（心理学） | 立元 真   | レジリエンスを育てましょう                     |
| 特別支援教育   | 戸ヶ崎 泰子 | 大人の暮らし                            |
| 国語       | 李 軍    | 身近な言葉による日本語歴史探検                   |
| 数学       | 向江 頼士  | “当たり前”を数学で考える<br>～鳩の巣原理～          |
| 社会       | 中堀 博司  | フランスの街を覗いてみよう                     |
| 音楽       | 菅 裕    | 即興的に音楽をつくろう                       |
| 理科       | 西田 伸   | イルカ・クジラから「進化」を知ろう！                |
| 英語       | 本多 正敏  | 話して学ぶ英語の文化と思考法<br>ー「つながる」英会話レッスンー |



科学的思考を身に付け  
夢のある人生を描く

多彩な講座で視野を  
広げる

対象に合わせた  
専門的な学び

# 4.成果・今後の展望



宮崎大学教育学部附属中学校PTA

## 参加者の声

**生徒** フランスの観光地から、今まで勉強してきた世界史の中からも、繋がりを見つけたり、フランスの文化を知ったりすることができて、他の国のことも、勉強してみたいと思いました。

**生徒** 今までの音楽は、「楽譜から読み取る、感じるものだ」と思っていたが、今日の授業で「音楽は楽譜からだけじゃない」「図形でも音楽は作ることができる」ということを知りました。これからの音楽にも繋げていきたいと思いました。

**保護者** 小さい頃の興味、体験からそれを研究探求し、さらに社会貢献にまでつなげる日々の行動が、夢をもつことの重要性、夢を与える人生を目指す素晴らしさなど子どもたちにわかりやすく伝わったと思います。

**保護者** 保護者も問題解決思考や自己理解、他者心理の理解など、努力して身に付けられる部分を子どもに示していく必要性を感じました。

## 「大学で学ぼう」の成果

- ✓ 生徒たちは、多様な学問分野に触れ、幅広い知識と視野を獲得
- ✓ 大学教員との交流を通して、高等教育への関心が向上
- ✓ 教科の枠を超えた探究心や自主性の育成
- ✓ 保護者は、準備から当日参加まで関わり、思春期の子どもとの接し方の重要性を再認識

## ➡ 今後の展望

今後もPTAと大学との連携を深め、生徒の将来の可能性を広げる取組を継続していきます。  
保護者の積極的な参加や意見交換を通して、さらに充実した学びの機会を提供していきます。

## 宮崎大学教育学部附属中学校の PTA 活動である「大学で学ぼう」の取組紹介

### 1 活動概要・目的

- ・宮崎大学教育学部附属中学校は県内唯一の国立中学校。生徒数約 440 名が在籍。
- ・「真理を探究し、勤労を愛する、気品のある生徒」を育成。
- ・PTA 活動は、宮崎大学や学校との協働を大切にしながら活発に行われ、特に学年別の実践活動は附属中ならではの特色を持ち、保護者と教職員、大学、地域との連携のもとで実施。生徒だけでなく、保護者も活動に参加することが特徴。
- ・1 年生は、宮崎大学医学部・工学部と連携し、「みやざき健康キャラバン隊がやってくる」と題して健康教育講座を開催。
- ・2 年生は「宮崎で働く保護者」と題し、保護者が仕事への想いや苦労、やりがい語る姿に、生徒は社会とのつながりを実感。
- ・E 級（特別支援学級）は、大学農場での野菜の栽培・収穫・販売を体験。親子で汗を流しながら取り組み、家族との絆を深める大切な経験。
- ・今回、御紹介する 3 年生の活動は、「大学で学ぼう」と題し、大学の先生方による授業を体験。知識や考え方を深め、今後の進路選択や将来の生き方の視野を広げることが目的に実施。
- ・生徒向けと保護者向けの選択講座を設け、専門性の高い大学講義を体験。

### 2 大学と PTA の連携

- ・実施にあたっては、生徒を真ん中にして、保護者・教職員・大学・地域が手を取り合いながら、共に学び、支え合い、育ち合う「チーム附属」として連携。
- ・具体的には、PTA 第 3 学年委員会で作成した企画案について、附属学校園統括長がアドバイスをした上で大学につなぎ、講義内容や講師陣を調整。
- ・中学校教職員は、企画段階から保護者と意見交換を行い、選択講座の出席とりまとめや保護者と共に当日の運営を担当。
- ・保護者も生徒と一緒に専門性の高い講義に参加することで、子どもの長所を伸ばし、夢のある人生を描いていくことの重要性を再認識。

### 3 講義紹介

- ・生徒と保護者向けの全体講座に加え、保護者向けには教育学、生徒向けには国語や数学、音楽など、自分の興味に合わせて選択講座を設けた。
- ・多様な講座で視野を広げるとともに、大学ならではの専門的な学びを得た。

### 4 成果・今後の展望

- ・生徒アンケートでは、「フランスの観光地から、今まで勉強してきた世界史の中からも繋がりを見つけたり、フランス文化を知ることができ、他の国のことも勉強してみたい」。
- ・保護者アンケートでは、「問題解決思考や自己理解、他者心理の理解など、努力して身に付けられる部分を子どもに示していく必要性を感じた」。
- ・生徒は多様な学問分野に触れ、高等教育への関心が向上し、探究心や自主性も育成できた。
- ・保護者は企画から当日まで関わり、思春期のこどもとの接し方の重要性を再認識。
- ・今後も PTA と大学との連携を深め、生徒の将来の可能性を広げる取組を継続し、保護者の積極的な参加や意見交換を通して、さらに充実した学びの機会を提供していく。